



北浦街道いまとむかし 末廣稲荷神社

●左側写真：明治末期頃の末廣稲荷神社「しものせきなつかしの写真集」より転載 ●右側写真2枚：現在の末廣稲荷神社(当協議会撮影)

北浦街道探訪記

中東地区まちづくり協議会 部会たより / 地域づくり部会

シリーズ全4回 / 第3回

ご存知ですか？
下関(赤間関)最古の稲荷神社
～末廣稲荷神社～



西暦八〇九年(平安時代)、今の赤間町に鎮座された末廣稲荷神社。
御祭神は倉稲魂神(ウカノミタマノカミ:穀物の豊穰をつかさどる神)です。

戦災に会い消失してしまいましたが、当時は背後に稲荷山が控え、その広い境内には「末廣さんの桜」と親しまれた大きな桜があったようです。今ではその面影もありませんが、現在は奥小路から幸町、そして末廣稲荷の入口にあたる赤間町の道の両側に桜が連なり、毎年春には「桜のトンネル」として多くの人達に親しまれています。

今の末廣稲荷神社は市内の篤志家の皆様のご寄付により立派に再建され、商売繁盛・家内安全の神様として毎月一日、午前九時にお神楽が上がり地元の方々が詣りされています。
皆様もお気軽にお参りされてみませんか。